



LOGICAL PHOTO SCHOOL

ロジカル・フォトスクール

-写真は左脳でうまくなる-

特典PDF 1 写真最短上達の道

皆さんが
写真を学ぶ理由は？

写真を学ぶ理由

長くつづけられる趣味を持ちたいから？

旅先の綺麗な景色を素敵に撮りたいから？

ご家族や友人、パートナーなど、大切な方たちと過ごす「時間」を目に見えるカタチにして未来に残したいから？

せっかくなら、うまく写真を撮りたい

写真を学ぶ理由

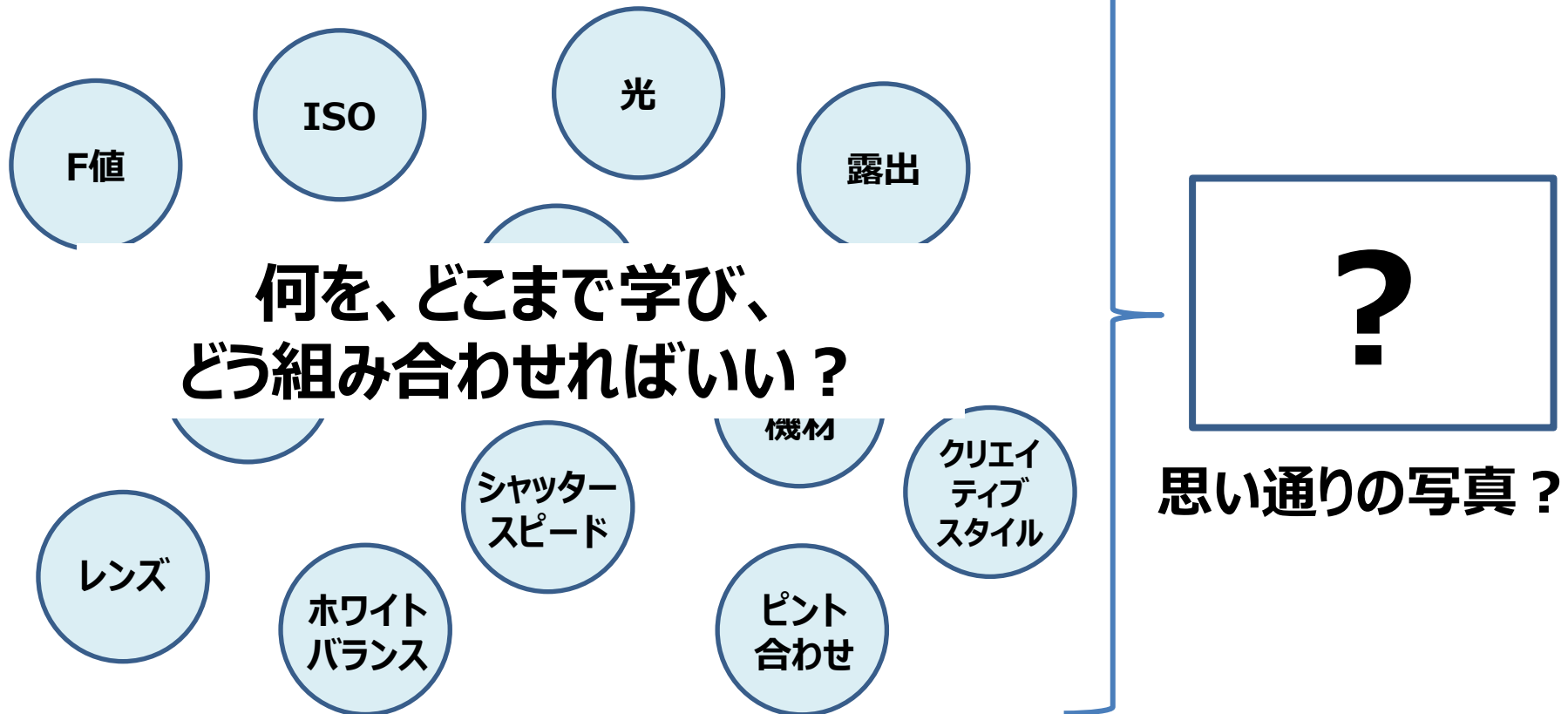
高い機材を買う？

ネットで独学？

スクールへ行ってみる？

機能や用語が多く、何をどこまで学べば良いのか分からない。
操作が複雑で、どう組み合わせれば良いのか分からない。
結果、混乱や挫折しやすく、せっかく買ったカメラが眠りにつくことに……。

機能や用語を個別に学ぶ方法



写真の描写 7 要素とは

「機能や用語」を個別に覚えるのではなく、「写真の描写7要素」を知り、被写体ごとにどう活かすか学ぶことが「思い通りの写真」実現への近道



『ロジカル・フォトメソッド』とは

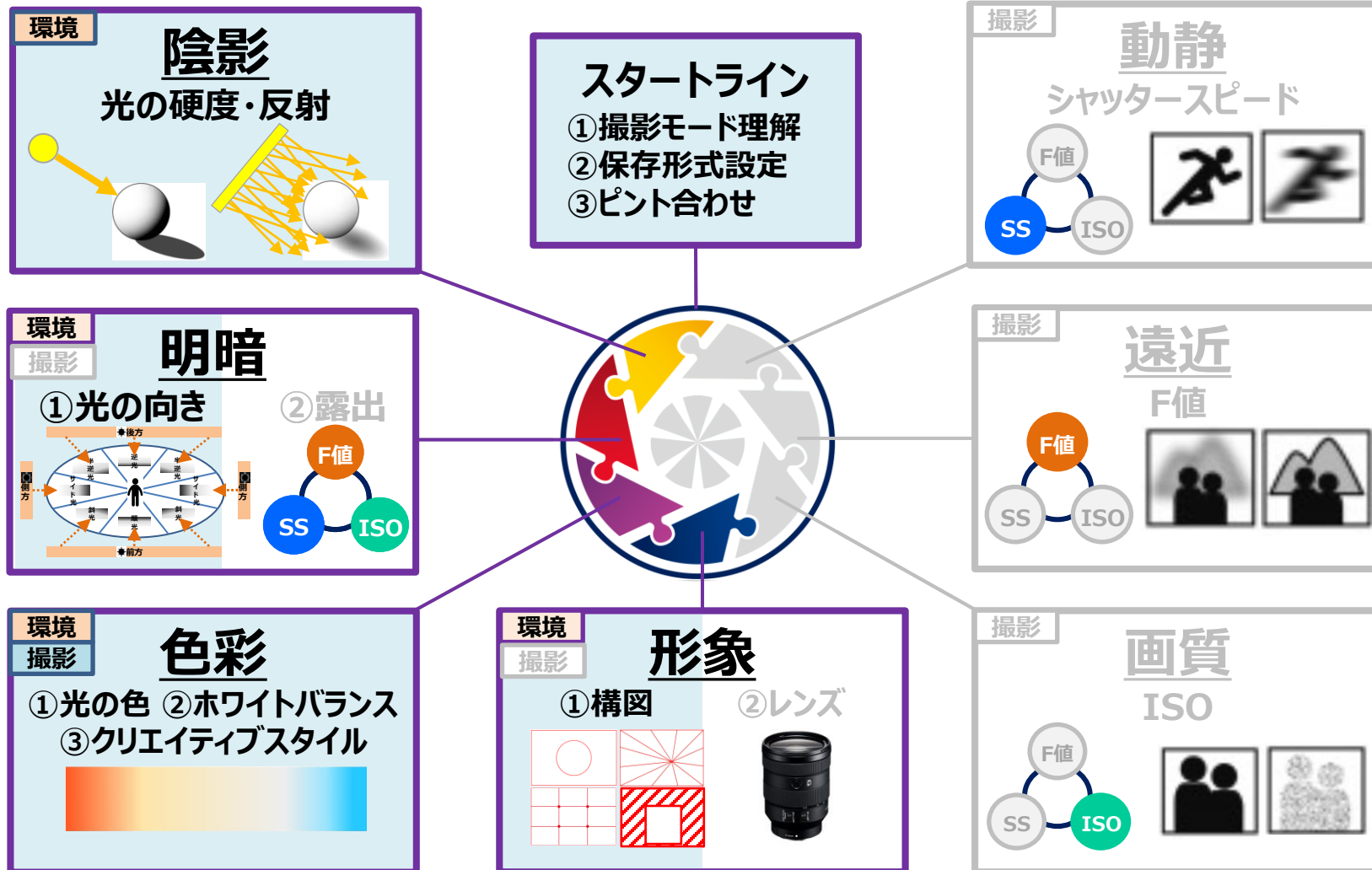
テキスト抜粋

『ロジカル・フォトメソッド』とは、“何を、どう撮りたいか”に応じて「**写真の描写7要素**」の掛け合わせを考える方法論。

7要素を構成する環境要素と撮影要素に分けて漏れなく解説



高額な機材や熟達したスキルがなくても印象的な写真を生み出すことが可能となる「光の活かし方」や「構図」など、『環境』を活かして差のつく写真を撮るための方法を中心に学習

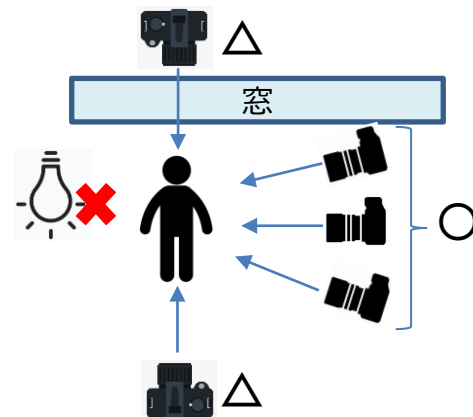


レース・曇りガラス・障子などを通して拡散した光を使うことで、陰影差が弱まり、人・モノ・料理など、様々な被写体を手軽に美しく描写できる



※窓際撮影時の注意点

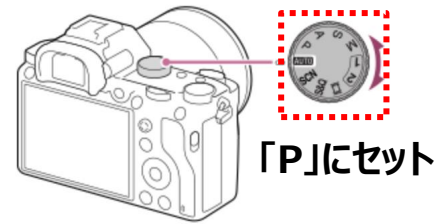
- ①被写体の位置：窓から離しすぎない(光が届かなくなるため)
- ②撮影者の位置：被写体の横、または斜めから撮る(窓側正面だと陰影差が小さくなって印象が弱まる。窓側反対面だと逆光で被写体がシルエット化してしまうため)
- ③室内の電気：室内灯を消すと尚良い(室内の光が強いと陰影差が消えてしまったり、自然光の綺麗な白い光に人工光の別の色が混ざってしまうことで美しさが低減するため)



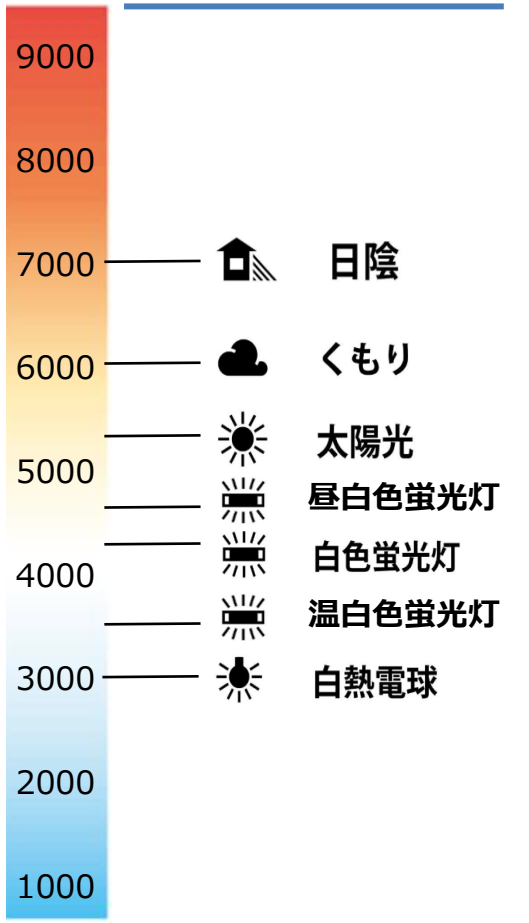
【色彩】ホワイトバランス(WB)：ポイント

テキスト抜粋
(修正)

「明け方・夕方⇒赤み」、「夜・屋外⇒青み」など、『色味付加』のセオリーに合わせてアイコン選択をするだけで写真の印象が強化される



WB設定アイコン



【高い色温度】
赤み付加



赤い月

肉眼で見た色の月

【中間の色温度】
付加なし・少



青い月

【低い色温度】
青み付加



燃えるような夕空



マジックアワーのグラデーション



都会の無機質な光(クール)



【形象】三分割構図：ポイント

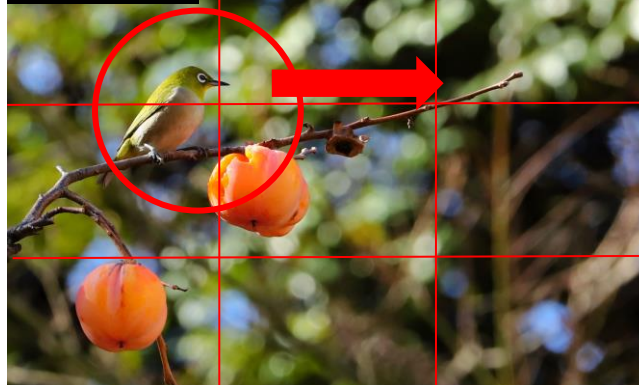
テキスト抜粋

基本は被写体の“顔・目の位置”を交点に置く。そして“視線の向く先”、または“体が開いている側”の空間をあける。撮影時に厳密に交点に配置することは難しいため、大まかに「左上・下/右上・下」程度でも良い

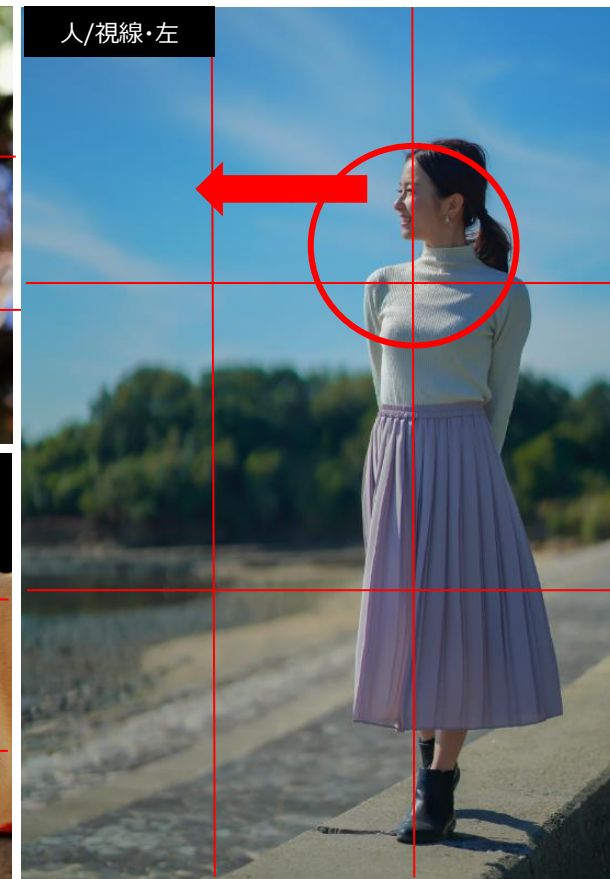
彫刻/視線・左



動靴/視線・右



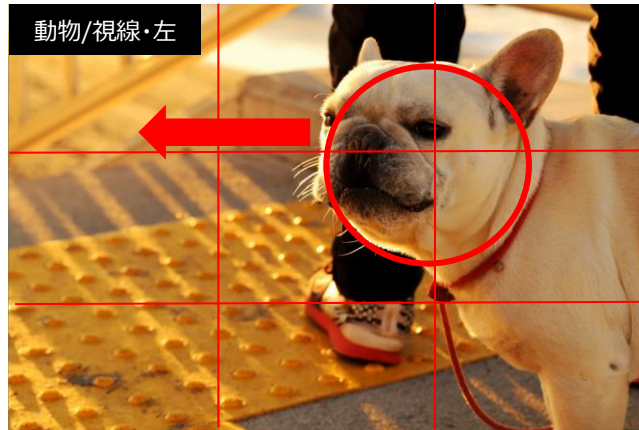
人/視線・左



人/視線・左



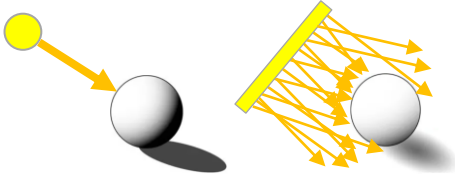
動物/視線・左



環境

陰影

光の硬度・反射




スタートライン

- ①撮影モード理解
- ②保存形式設定
- ③ピント合わせ

撮影

動静

シャッタースピード

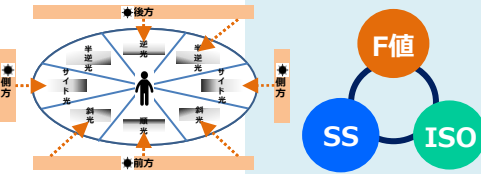


環境

撮影

明暗

- ①光の向き
- ②露出



撮影

遠近

F値



環境

撮影

色彩

- ①光の色
- ②ホワイトバランス
- ③クリエイティブスタイル



環境

撮影

形象

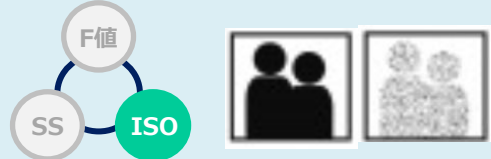
- ①構図
- ②レンズ



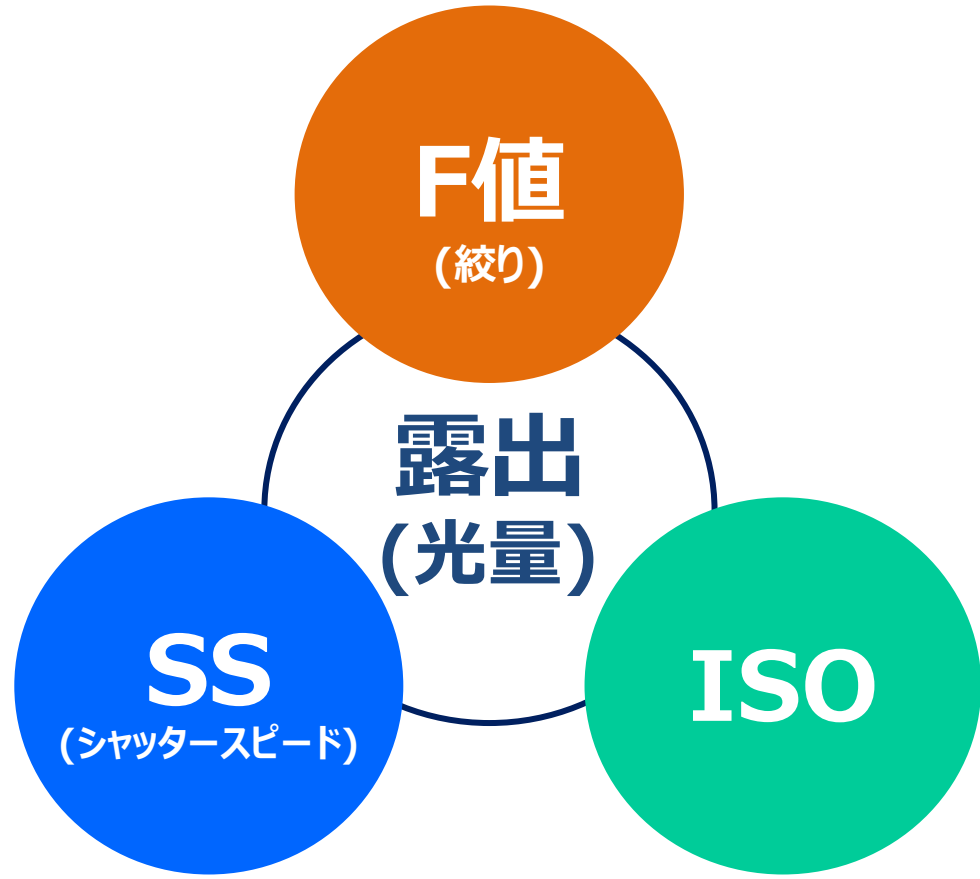
撮影

画質

ISO



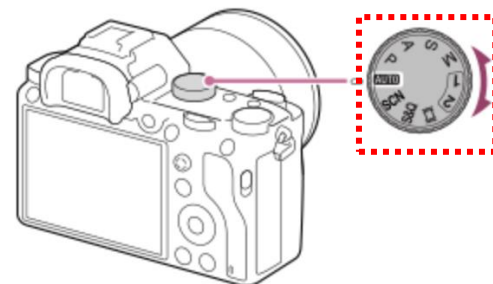
『露出』とは、「F値、シャッタースピード(SS)、ISO」という3つの要素で構成され、写真に取り込む“光の量”(明暗度)を調節する機能。この3要素の条件値の設定次第で、背景をボカしたり(遠近感)、動いている人やモノをピタッと止める(動静感)などの描写が可能となる



【明暗・画質・遠近・動静】撮影モード

テキスト抜粋

撮影モードは全5種類あり、違いは露出3要素の設定を「どこまで自分で決めるか」。自分で決める範囲が広いほど「思い通りの写真」の実現に近づく。



※ISOはAuto設定で「カメラ」に任せすることも可能



露出 3要素	撮影モード				
	Auto(A+) フルオート	P プログラムオート	A(Av) 絞り(F値)優先	S(Tv) シャッタースピード(SS)優先	M マニュアル
	何も考えず簡単に 写真を撮影したい (全てカメラ任せ)	簡単に撮影したいが、 一部機能は自分で設定 して表現の幅を広げたい	「ボケ感」や「全体クリア」 など、被写体に応じて 描写をコントロールしたい	動きのある被写体をブレなく 撮りたい、特殊な描写で写 真の表現力を高めたい	どんな被写体でも 「思い描いた通り」の 写真を撮りたい
F値	カメラ	カメラ	自分	カメラ	自分
SS	カメラ	カメラ	カメラ	自分	自分
ISO	カメラ	自分 カメラ	自分 カメラ	自分 カメラ	自分 カメラ

【 明暗・画質・遠近・動静】「こう撮りたい」10パターン

テキスト抜粋
(修正)

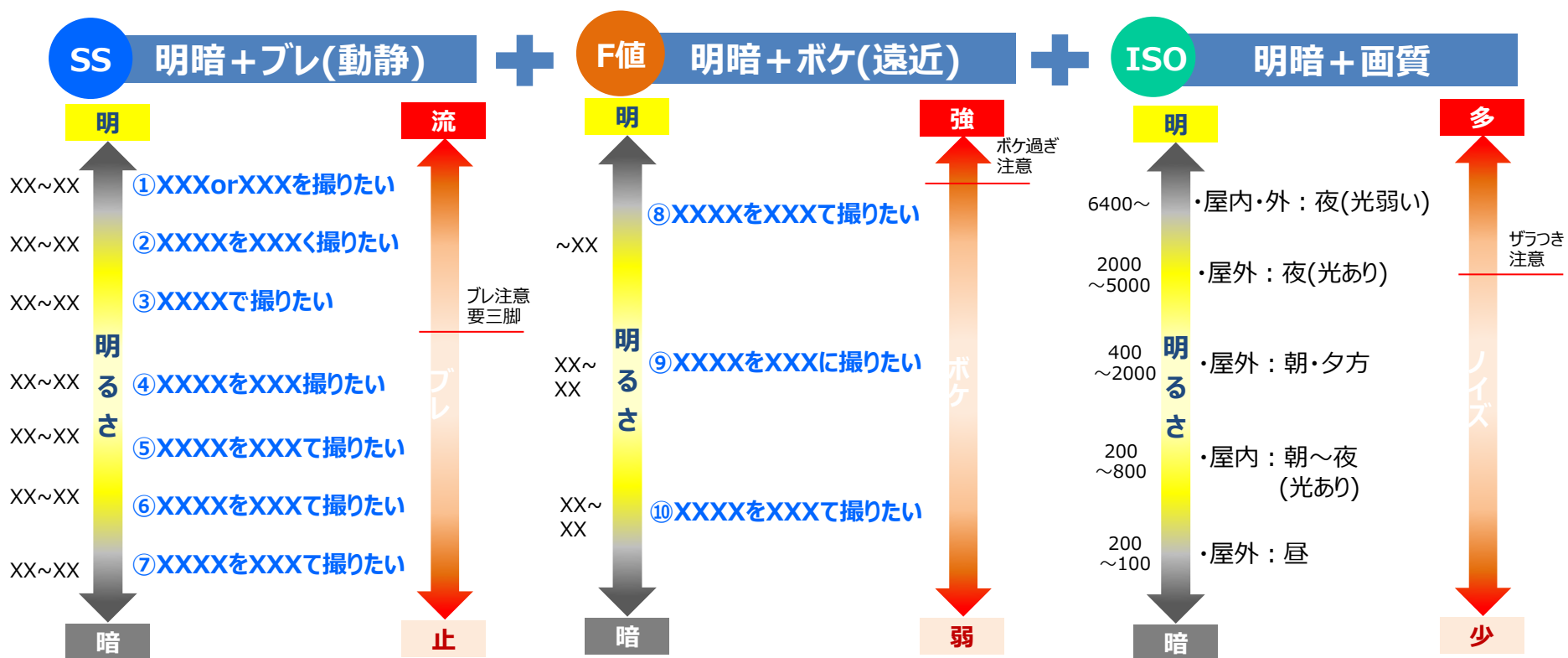
あらゆる被写体を計数十万枚撮影した結果、露出3要素の設定によって描写可能な「こう撮りたい」パターンは以下10コにほぼ集約される

- ① XXXXorXXXを撮りたい
- ② XXXXをXXXく撮りたい
- ③ XXXXで撮りたい
- ④ XXXXをXXXX撮りたい
- ⑤ XXXXをXXXて撮りたい
- ⑥ XXXXをXXXて撮りたい
- ⑦ XXXXをXXXて撮りたい
- ⑧ XXXXをXXXて撮りたい
- ⑨ XXXXをXXXに撮りたい
- ⑩ XXXXをXXXて撮りたい

【明暗・画質・遠近・動静】露出設定ロジック

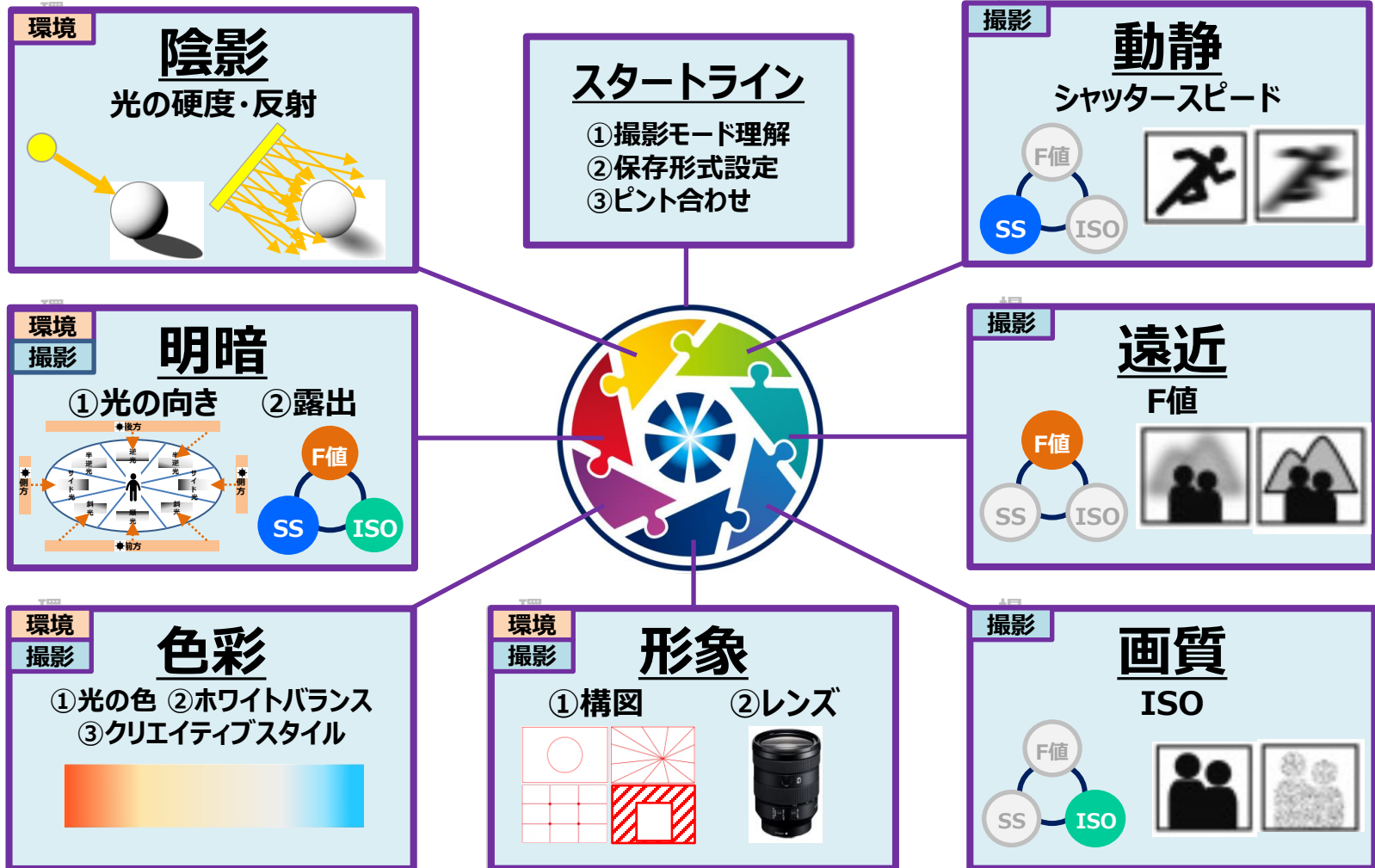
テキスト抜粋
(修正)

露出3要素の数値設定は“無限の組み合わせ”ではなく、「こう撮りたい」10パターンの中から選び、そのパターンごとの条件の目安値を参考に設定すれば、誰でも撮ることが可能 ※実際は3段ステップで組み合わせを解説



※上記3要素の数値は「光の環境(光源の強さ、向き、壁や屋根などの遮光物の有無等)」や「撮影時の焦点距離」、「機材のスペック」によるため目安としてご参照

- ・「感覚的」ではなく「論理的」に納得しながら学びたい方
- ・「思い通りの写真」実現に向けて最短距離で学びたい方
- ・独学や他スクールでの学びを頭の中で紐づけ、整理したい方



おわりに：フォトマスターコース 全体像

『環境活用編』・『ロジカル撮影編』の全2編。自分のペースで着実に学びたい方向けの「オンライン学習」と、講師との対面でより深く学び、しっかりと身に付けたい方向けの『実習』があります

オンライン学習

実習

講座

自分のペースで着実に学びたい方

対面でより深く学びたい方

高い機材やスキルがなくても『環境』を活かして「差のつく写真」を撮る方法

動画の学びを体感・実践し、「環境適応力」を高める

環境活用編



特典付

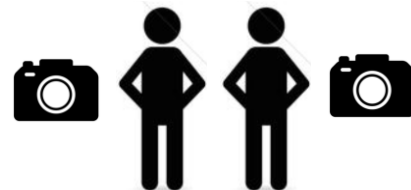
『ロジカル』な条件設定および7要素を活かした「思い通りの写真」を撮る方法

動画の学びを体感・実践し、「被写体適応力」を高める

ロジカル撮影編



特典付



特典付

※『実習』は動画受講者を前提とした内容。詳細およびお申込みはホームページ(次頁リンク)にてご案内



LOGICAL PHOTO SCHOOL
ロジカル・フォトスクール

-写真は左脳でうまくなる-

<https://logical-photoschool.com/>